

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 27 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜式)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・12/27 10:37 第二セシウム吸着装置を起動し、たまり水の処理を再開。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

| 号機 | 排出元→移送先 | 移送状況 |
|-----|---|------------------------------|
| 2号機 | ・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)] | ・12/26 10:10～12/27 9:54 移送実施 |
| 3号機 | ・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)] | ・12/24 14:35～12/26 9:50 移送実施 |
| 6号機 | ・6号機タービン建屋→仮設タンク | ・12/27 移送予定なし |

| 移送先 | 移送先の水位状況 (12/27 7:00 時点) |
|------------------------|---|
| プロセス主建屋 | 水位: O.P.+ 2,153 mm (水位上昇累計: 3,370 mm) 12/26 7:00 から 100 mm 上昇 |
| 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) | 水位: O.P.+ 3,918 mm (水位上昇累計: 4,644 mm) 12/26 7:00 から 343 mm 上昇 |

【その他移送】・12/27 10:14～15:18 集中廃棄物処理施設においてサイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ移送実施。

◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/27 7:00 時点)

| | トレンチ立坑 | タービン建屋 | 原子炉建屋 |
|-----|--|--|--|
| 1号機 | O.P.<+ 850 mm (12/26 7:00 と同じ) | O.P.+ 2,814 mm (12/26 7:00 から 25 mm 上昇) | O.P.+ 4,244 mm (12/26 7:00 から 変化なし) |
| 2号機 | O.P.+ 3,184 mm (12/26 7:00 から 21 mm 下降) | O.P.+ 3,161 mm (12/26 7:00 から 24 mm 下降) | O.P.+ 3,291 mm (12/26 7:00 から 15 mm 下降) |
| 3号機 | O.P.+ 3,169 mm (12/26 7:00 から 1 mm 上昇) | O.P.+ 3,136 mm (12/26 7:00 から 52 mm 上昇) | O.P.+ 3,387 mm (12/26 7:00 から 45 mm 上昇) |
| 4号機 | — | O.P.+ 3,124 mm (12/26 7:00 から 10 mm 下降) | O.P.+ 3,134 mm (12/26 7:00 から 18 mm 下降) |

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

| 採取場所 | 採取日 | 採取時間 | 濃度限度比(倍) | | |
|----------------------|-------|------|----------|----------|----------|
| | | | ヨウ素-131 | セシウム-134 | セシウム-137 |
| 福島第一 5,6号機放水口北側約30m | 12/26 | 8:30 | ND | 0.10 | 0.07 |
| 福島第一 1~4号機放水口南側約330m | 12/26 | 8:10 | ND | 0.03 | 0.03 |

- ・その他、福島第一原子力発電所沿岸2地点(12/26採取分)、福島県沖合2地点(12/25採取分)、および茨城県沖合5地点(12/20~21採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (12/27 11:00時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | プール水温度 |
|-----|----------|------|--------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 11.0℃ |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 14.3℃ |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 12.5℃ |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 19℃ |

【2号機】・12/27 13:58~15:57 使用済燃料プール循環冷却システムの1次系循環ポンプの吸込圧力に低下傾向が見られることから、同ポンプの入口側ストレーナをフラッシングするため、当該システムを一時停止。(プール水温度:停止時 約14.2℃→起動時 約14.2℃)

【4号機】・11/29~ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

<原子炉圧力容器への注水・原子炉の状況> (12/27 11:00時点)

| 号機 | 注水状況 | 給水ノズル温度 | 原子炉圧力容器下部温度 | 原子炉格納容器圧力 |
|-----|--|---------|-------------|--------------|
| 1号機 | 淡水注入中 (給水系:約4.3m ³ /h, 炉心スプレイ系:約2.0m ³ /h) | 27.6℃ | 28.3℃ | 106.3 kPaabs |
| 2号機 | 淡水注入中* (給水系:約2.0m ³ /h, 炉心スプレイ系:約7.0m ³ /h) | 55.9℃ | 57.8℃ | 108 kPaabs |
| 3号機 | 淡水注入中 (給水系:約3.0m ³ /h, 炉心スプレイ系:約6.0m ³ /h) | 49.9℃ | 58.0℃ | 101.6 kPaabs |

【2号機】・12/27 11:00 原子炉注水ポンプの多様化に向けたポンプの試運転準備のため、炉心スプレイ系からの注水量を約6.0m³/hから約7.0m³/hへ、給水系からの注水量を約2.8m³/hから約2.0m³/hへ調整を実施。

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

<その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・12/27 10:19 津波の影響により使用出来なかった6号機残留熱除去系海水ポンプ(A)復旧作業が完了したため、試運転を開始。
11:30 異常がないことを確認し、本格運用を開始。これにより、6号機の本設残留熱除去系海水ポンプは(A)と(C)の2台となる。
なお、試運転に伴い、6号機残留熱除去系ポンプ(A)を一時的に停止(10:01~11:09)。この間の炉水温度上昇は約0.7℃であり問題ない。(炉水温度:停止時 約27.2℃→起動時 約27.9℃)